



沖水中学校だより

～笑顔があふれ明日が楽しみに待たれる安心・安全な学校～

令和4年
2月8日(火)
【第11号】

暦の上では立春も過ぎたところですが、まだまだ寒さが身にしみるところです。あわせて、今般の新型コロナウイルスの感染急拡大により、心配な状況が続いているところです。

さて、1年道德の教科書に「いのちの歌」(作詞：竹内まりあ/作曲：村松崇継)の歌詞が掲載されています。命の尊さについて学ぶ授業のところで、この歌詞が紹介されています。その歌詞は、「生きていくことの意味、、、」という歌詞から始まり、途中に次のようなフレーズがあります。

「本当に大事なものは 隠れて見えない

ささやかすぎる日々の中に かけがえない喜びがある」

約2年前に、緊急事態宣言が発出され、休校となりました。当時、改めて、日常のありがたさ、命の大切さを痛感したものです。新しい生活様式が当たり前となった現在、今一度「日常のありがたさ、命の大切さ」を再認識し、一人一人が当事者意識をもって、周りの人に対して優しさと思いやりをもって接していきたいものです。

「春のあんしんネット・新学期一斉行動」(2月から5月)

近年、スマートフォン等の急速な普及に伴い、無料通話アプリやSNS、オンラインゲーム等のいわゆるソーシャルメディア等により高い利便性が得られる一方、長時間利用による生活習慣の乱れや、不適正な利用により、トラブル、いじめやプライバシーの問題等につながるケースが見られます。未来を担う青少年が、様々なリスクや対応策を理解した上で、インターネット等を正しく活用できる環境を整えることが、より一層重要になっています。

そこで、国は、2月から5月の多くの青少年が初めてスマートフォンやタブレット等を手にする春の卒業・進学・新入学の時期に、インターネット等のサービスを提供する事業者や学校等が、青少年・保護者に対してスマートフォンやSNS等の安心・安全な利用のための啓発活動を「春のあんしんネット・新学期一斉行動」として実施します。特に、PTAに対しての啓発及び推進の柱は次のとおりとなっています。

- ① パレンタルコントロール(保護者による管理)による対応の推進
- ② 効果的なフィルタリング等の利用
- ③ 話し合いによる家庭内のルールづくり
- ④ インターネットを適切に活用する能力の向上促進

本日、右のような啓発資料「守りたい 大切な自分 大切な誰か～ネットの落とし穴に踏み込まないで～」

(2021年版警察庁・文部科学省)を配付していますので、一読ください。各家庭でのルールづくりや現在のルールの見直し等のきっかけとしてご活用ください。



【お知らせ】

※ 2月18日(金)に予定しておりました1・2年の参観日(2年は立志式)は感染拡大防止のため中止します。

※ 3月16日(水)の卒業式は、感染状況に応じて参加人数制限、時間短縮をするなど感染拡大防止策を行った上で実施する予定です。